

病害虫防除技術情報 第4号

令和2年5月28日
三重県病害虫防除所

**果樹カメムシ類の誘殺数が近年より多くなっています。
圃場の見回りで飛来を確認したら防除を実施してください。**

1. 対象作物： ナシ、カキ等
2. 対象病害虫名： 果樹カメムシ類(主にツヤアオカメムシ)
3. 発生状況
 - 1) フェロモントラップにおける5月1週～5月3週のツヤアオカメムシ誘殺数は、津市白山町川口で44.1頭(平成5.5頭)、松阪市嬉野川北町で39.0頭(平成12.5頭)、多気町矢田で702.0頭(平成213.7頭)と平年値より多くなっています(図1)。
 - 2) フェロモントラップにおける5月1週～5月3週のチャバネアオカメムシはほぼ平年並の推移ですが、誘殺数は津市白山町川口で194.3頭(平成167.1頭)と過去10年で3番目に多く、津市白山町二本木で381.5頭(平成313.5頭)と過去10年で2番目に多くなっています(図2)。
 - 3) 予察灯(松阪市嬉野川北町)における5月第1半旬～第4半旬の誘殺数は、ツヤアオカメムシで317頭(平成32.2頭)と平年値より多くなっています。チャバネアオカメムシは平年並の推移ですが、664頭(平成595.8頭)と、過去10年で3番目に多くなっています(図3)。

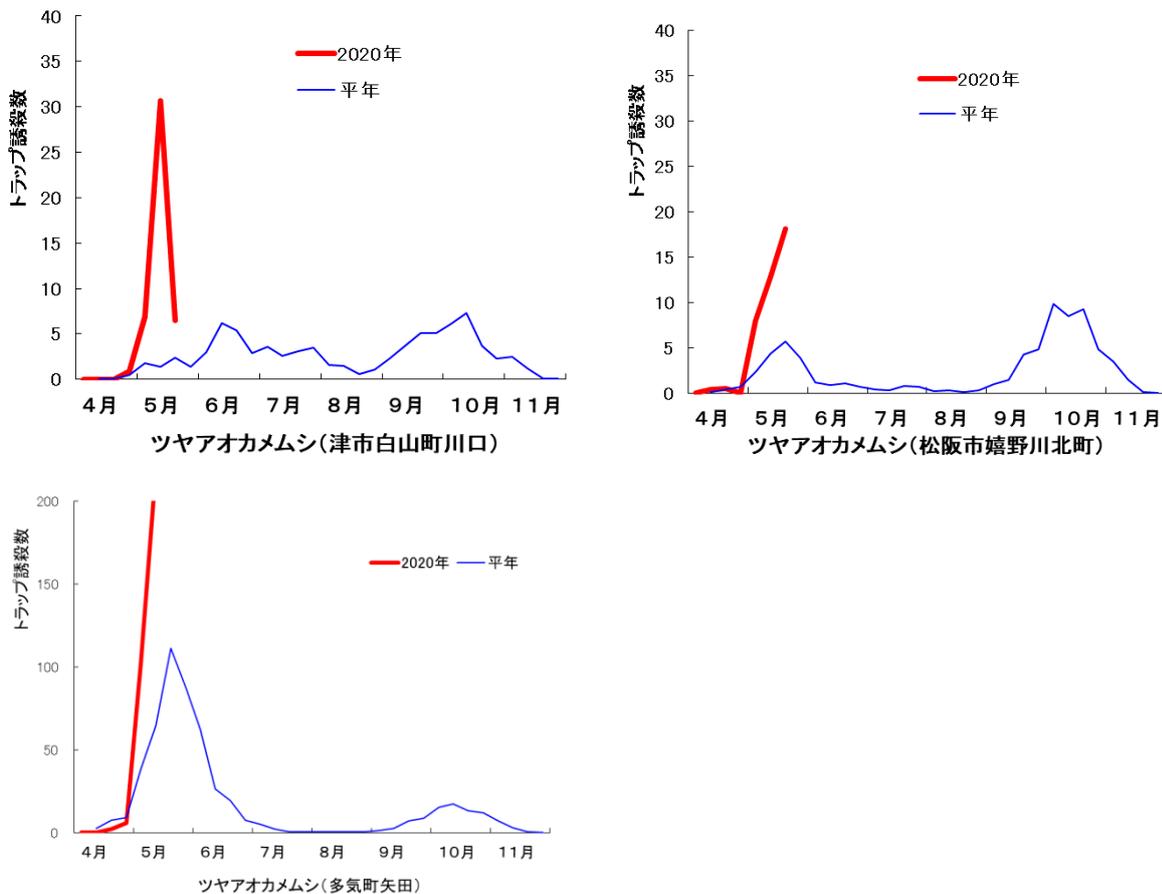


図1. フェロモントラップへのツヤアオカメムシ誘殺数の推移
津市白山町川口(左上)、松阪市嬉野川北町(右上)、多気町矢田(左下)

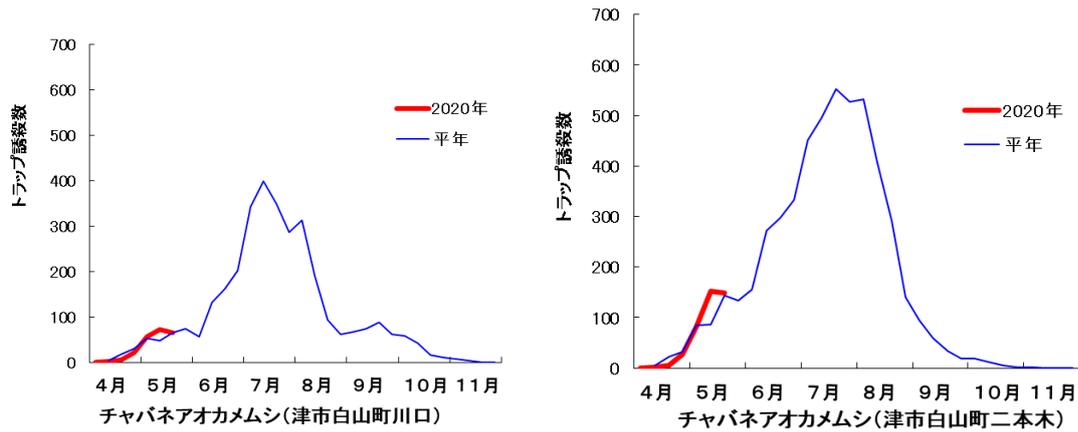


図2. フェロモントラップへのチャバネアオカメムシ誘殺数の推移
津市白山町川口(左)、津市白山町二本木(右)

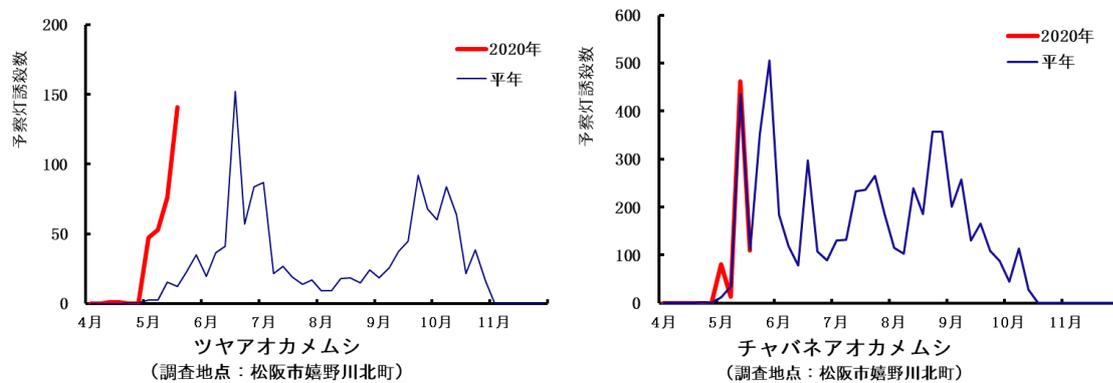


図3. 予察灯(松阪市嬉野川北町)への果樹カメムシ類誘殺数の推移
(左)ツヤアオカメムシ、(右)チャバネアオカメムシ

7. 防除上の注意事項

- 1) 飛来数は圃場による差が大きい傾向があります。気象の変動をきっかけに飛来する可能性も考えられますので、今後の発生動向に注意してください。
- 2) 気温の上昇に伴い活発に飛翔するので、夜温が高く、風が弱い日に飛来が多くなります。夜間の照明等への飛来を参考にし、圃場の見回りで飛来を確認したら防除を実施してください。
- 3) 過去に飛来が多かった圃場では特に注意してください。
- 4) 近隣圃場と同時に広い範囲で散布日を合わせて一斉防除すると効果が高くなります。
- 5) 合成ピレスロイド系の薬剤を連続して散布すると、ハダニ類、カイガラムシ類の発生が多くなる傾向があるので注意してください。薬剤は三重県農薬情報システム

(<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/mie>)で検索することができます。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。